

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公表番号】特表 2003-503574 (P2003-503574A)

【公表日】平成 15 年 1 月 28 日 (2003.1.28)

【出願番号】特願 2001-506734 (P2001-506734)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

B 3 2 B 5/18 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

C 0 8 F 265/04 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 7/02 (2006.01)

C 0 8 L 25/12 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/02

B 3 2 B 5/18

B 3 2 B 27/36

C 0 8 F 265/04

C 0 8 J 5/00 C F D

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 7/02

C 0 8 L 25/12

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 69/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】a) 成分 A としての、1 ~ 99.5 質量%の少なくとも 1 種のポリ
エステル、

b) 成分 B としての、0.1 ~ 20 質量%の、

b 1) 成分 B に対して 50 ~ 90 質量%の、ガラス転移温度が 0 以下である粒子状グラフトベース B 1 と、

b 2) 成分 B に対して 10 ~ 50 質量%の、

b 2 1) 成分 B 2 1 としての、成分 b 2 に対して 50 ~ 90 質量%の芳香族ビニルモノマーと、

b 2 2) 成分 B 2 2 としての、成分 b 2 に対して 10 ~ 50 質量%のアクリロニトリルおよび/またはメタクリロニトリルと、

から製造されたグラフト B 2 と、

から製造された、少なくとも 1 種の粒子状グラフトコポリマー、

c) 成分 C としての、0.1 ~ 20 質量%の、
c 1) 成分 C 1 としての、成分 C に対して 50 ~ 90 質量%の少なくとも 1 種の芳香族ビニルモノマーと、
c 2) 成分 C 2 としての、成分 C に対して 10 ~ 50 質量%のアクリロニトリルおよび/またはメタクリロニトリルと、
から製造された少なくとも 1 種のコポリマー、
e) 成分 E としての、0.1 ~ 20 質量%の、成分 A とは異なるポリエステル、
f) 成分 F としての、0.01 ~ 10 質量%の少なくとも 1 種の造核剤および少なくとも 1 種のエステル交換安定剤(但し、エステル交換安定剤に対する造核剤の質量比は、1 : 100 ~ 100 : 1 の範囲である。)、
および、
g) 成分 G としての、0.1 ~ 10 質量%の慣用的な添加物、
(但し、成分 A、B、C、E、F、G それぞれの質量%の値は、成分 A、B、C、E、F、G の合計量に対するものであり、合計量は 100 質量%である。)を含む成形用組成物。

【請求項 2】成分 F において、
造核剤が、粒子サイズが 0.1 ~ 15 μm である粒子状固体であるか、
エステル交換安定剤が、少なくとも 1 種のリン含有化合物であるか、または、
造核剤が、粒子サイズが 0.1 ~ 15 μm である粒子状固体であり、且つ、エステル交換安定剤が、少なくとも 1 種のリン含有化合物であるか、
のいずれかであることを特徴とする、請求項 1 に記載の成形用組成物。

【請求項 3】成形用組成物がさらに、
成分 H としての、成形用組成物の質量に対して 0 ~ 30 質量%のポリカルボナート、および、
成分 I としての、成形用組成物の質量に対して 0.1 ~ 100 質量%のファイバー、
を含むことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の成形用組成物。

【請求項 4】成分 A が、
a 1) 成分 A に対して 50 ~ 100 質量%のポリブチレンテレフタレートと、
a 2) 成分 A に対して 0 ~ 50 質量%の他の重縮合物と、
から構成されていることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物。

【請求項 5】成分 B が、
b 1) 成分 B に対して 50 ~ 90 質量%の、
b 1 1) 成分 B 1 1 としての、成分 b 1 に対して 75 ~ 99.9 質量%の $\text{C}_1 \sim \text{C}_{10}$ -アルキルアクリレートと、
b 1 2) 成分 B 1 2 としての、成分 b 1 に対して 0.1 ~ 10 質量%の、少なくとも 2 個の非共役オレフィン性二重結合を有している、少なくとも 1 種の多官能性モノマーと、
b 1 3) 成分 B 1 3 としての、成分 b 1 に対して 0 ~ 24.9 質量%の 1 種以上の共重合可能な他のモノマーと、
から製造されている粒子状グラフトベース B 1 と、
b 2) 成分 B に対して 10 ~ 50 質量%の、
b 2 1) 成分 B 2 1 としての、成分 b 2 に対して 50 ~ 90 質量%の芳香族ビニルモノマーと、
b 2 2) 成分 B 2 2 としての、成分 b 2 に対して 10 ~ 50 質量%のアクリロニトリルおよび/またはメタクリロニトリルと、
から製造されているグラフト B 2 と、
から構成されていることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物。

【請求項 6】成分 H のポリカルボナートの、ISO 1133 に従って温度 300、負荷 1.2 k p において測定した溶融体積速度で表わした流動特性の値が、9 ~ 100

$\text{cm}^3 / 10$ 分であることを特徴とする、請求項3～5のいずれか1項に記載の成形用組成物。

【請求項7】成分Bが、

成分Bに対して10～90質量%の、メジアン粒子サイズが50～200nmである小粒子グラフトコポリマーと、

成分Bに対して10～90質量%の、メジアン粒子サイズが250～1000nmである大粒子グラフトコポリマーと、

から構成されていることを特徴とする、請求項1～6のいずれか1項に記載の成形用組成物。

【請求項8】請求項1～7のいずれか1項に記載の成形用組成物を含む成形体。

【請求項9】i) PV3341に従って測定した炭素放出量が $50 \mu\text{g C} / \text{g}$ より少ないこと、

ii) DIN50011 / PV3900に従って測定した臭気試験の結果がレベル5より良好であること、

iii) ビカーB軟化点が120より高いこと、

iv) 密度が $1.1 \sim 1.5 \text{ g} / \text{cm}^3$ の範囲であること、

v) ISO1133に従い、温度275、負荷2.16kpにおいて測定した溶融体積速度で表わされる流動特性が、 $10 \text{ cm}^3 / 10$ 分より大きいこと、

vi) ISO179 / 1eUに従って測定した衝撃強さの値が、120で1000時間熱老化処理した後に、熱老化処理前の値に比べて30%未満の減少率であること、

vii) DIN53457に従い測定した破壊点伸びの値が、130で1000時間熱老化処理した後に、2%より大きいこと、

の特性のうちのひとつ以上を有していることを特徴とする、請求項8に記載の成形体。

【請求項10】請求項8または9に記載の成形体および重縮合物フォームを含む積層体。

【請求項11】請求項1～7のいずれか1項に記載の成形用組成物、または、請求項8または9に記載の成形体、または、請求項10に記載の積層体を再生利用する方法。

【請求項12】請求項8または9に記載の成形体、または、請求項10に記載の積層体から得られる再生材料。

【請求項13】請求項1～7のいずれか1項に記載の成形用組成物、または、請求項12に記載の再生材料を含む、自動車内部部品または自動車外部のボディー部品のための成形体。